

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【教育総務課】</p> <p>高等学校建設費</p>	<p>1,239,699 (1,214,094)</p> <p>国 2,646</p> <p>繰 202,646</p> <p>諸 84,991</p> <p>起 903,000</p> <p>46,416</p>	<p>1 耐震対策 1,056,600 (債務負担行為 平成24年度 814,543)</p> <p>旧耐震基準により建築された学校施設について、順次、耐震診断調査結果に基づき、耐震化工事を実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震化工事 6校 <ul style="list-style-type: none"> 継続工事 4校（瀬田工業、瀬田、八幡、大津商業） 新規工事 2校（米原、彦根東） ・設計 2校（守山、水口東） <p>2 施設改修 49,030</p> <p>学校施設の適切な維持のため、施設改修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計・工事（守山北高校武道場屋根改修等）7件 <p>3 都市計画道路整備対策 134,069</p> <p>八日市南高校において、東近江市の都市計画道路整備事業に伴い必要となるグラウンド改修工事等を実施する。</p>
<p>特別支援学校建設費</p>	<p>307,873 (18,630)</p> <p>国 63,914</p> <p>繰 238,928</p> <p>5,031</p>	<p>1 教室不足解消事業 214,101</p> <p>野洲養護学校において、児童・生徒の急増に伴い発生している教室不足に対応するために校舎の増築を行う。</p> <p>2 施設改修 93,772</p> <p>学校施設の適切な維持のため、施設改修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計・工事（草津養護学校校舎屋上防水改修等）4件

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明			
		教職員定数 単位：人			
			23年度(A)	22年度(B)	増減(A-B)
小 学 校		校長教諭等	4,740	4,706	34
		養護教諭	250	252	2
		栄養教諭・ 栄養職員	64	64	0
		事務職員	255	253	2
		小計	5,309	5,275	34
中 学 校		校長教諭等	2,733	2,676	57
		養護教諭	104	103	1
		栄養教諭・ 栄養職員	11	11	0
		事務職員	121	118	3
		小計	2,969	2,908	61
高 等 学 校		校長教諭等	2,233	2,250	17
		上記以外の職員	453	456	3
		小計	2,686	2,706	20
特 別 支 援 学 校		校長教諭等	1,011	958	53
		上記以外の職員	166	167	1
		小計	1,177	1,125	52
		合計	12,141	12,014	127

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【福利課】</p> <p>教職員福利厚生費</p>	<p>146,312 (143,893)</p> <p>繰 382</p> <p>諸 139</p> <p>－ 145,791</p>	<p>教職員の生活の安定と福祉の向上に寄与するとともに、公務の能率的運営に資するため、福利厚生事業を実施する。</p> <p>1 教職員の安全衛生管理体制の推進 56,544</p> <p>2 公立学校共済組合運営費 87,756</p>
<p>【学校教育課】</p> <p>生徒指導対策費</p>	<p>120,542 (126,562)</p> <p>国 53,579</p> <p>⊖ 66,963</p>	<p>不登校、いじめ、暴力行為等の生徒指導上の諸問題への対策として、児童生徒や保護者に対する相談・指導体制を充実する。</p> <p>1 スクールカウンセラー等活用事業 69,892</p> <p>スクールカウンセラーの配置 ・中学校：100校 ・県立学校：重点校7校（地域拠点）、その他39校</p> <p>2 生徒指導緊急特別対応事業 9,004</p> <p>暴力行為等課題の大きな学校への支援を行うため、警察OBと教員OBをチームとして学校へ派遣し、学校と関係機関との一層の連携強化を推進するとともに、学校に対して問題を起こす児童生徒やその保護者への対応の指導助言を行う。</p> <p>3 生徒指導・進路指導総合推進事業 25,570</p> <p>生徒指導の課題への対応・対策として、外部機関との連携協力、専門的人材の活用、対応事例集等の開発など様々なアプローチによる事業を実施し、その有用性の検証ならびに成果の普及を図る。</p> <p>4 スクールソーシャルワーカー活用事業 14,140</p> <p>不登校の課題の大きい小学校にスクールソーシャルワーカーを配置したり、スーパーバイザー等をケース会議に派遣することにより、子ども支援の充実を図るとともに教員の実践力を高める。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明																		
高等学校奨学資金貸付事業費	370,971 (399,919)	経済的理由により高等学校等へ進学することが困難な者に対して奨学資金を貸与する。																		
	繰 66,799	1 奨学資金貸付金 360,554 貸与者：1,158人(予定)																		
	諸 239,639	<table border="1" data-bbox="724 602 1323 837"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>自宅通学者</th> <th>自宅外通学者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">奨学金 (月額)</td> <td>国公立</td> <td>18,000円</td> <td>23,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000円</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入学資金 (一時金)</td> <td>国公立</td> <td colspan="2">50,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td colspan="2">50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり</td> </tr> </tbody> </table>			自宅通学者	自宅外通学者	奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円	私立	30,000円	35,000円	入学資金 (一時金)	国公立	50,000円		私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり	
			自宅通学者	自宅外通学者																
	奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円																
私立		30,000円	35,000円																	
入学資金 (一時金)	国公立	50,000円																		
	私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり																		
⊖ 64,533	2 滋賀県奨学資金返還金等滞納整理 10,417																			
	各種奨学資金の返還金の未収金が増大していることから、緊急雇用創出特別推進事業によって債権回収にあたる人員を緊急的に雇用し、未収金の回収に努める。																			

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
特別支援教育振興費	<p>37,956 (43,273)</p> <p>国 9,389</p> <p>繰 15,108</p> <p>⊖ 13,459</p>	<p>一人ひとりの障害の状況に応じた指導を行い、児童生徒が自立し、社会参加をするための基礎となる生きる力を育成する教育を充実する。</p> <p>1 障害のある生徒の教育活動支援事業 15,108</p> <p>障害により特別な教育的支援が必要となる生徒が在籍する県立中・高等学校に学校生活サポ - タ - を配置し、学校が作成している特別支援教育の計画に基づいた学習支援ならびに生活支援を行う。</p> <p>2 特別支援教育総合推進事業 6,105</p> <p>特別支援教育巡回チ - ムの派遣、専門家による巡回指導、各種教員研修、学生支援員の活用などの実施により、特別支援教育推進体制の整備強化を図る。</p>
教科等指導対策費	<p>58,667 (54,178)</p> <p>国 14,981</p> <p>諸 30,777</p> <p>⊖ 12,909</p>	<p>子どもたちの発達段階や課題に応じた多様な体験学習の取組などを行う。</p> <p>1 中学生チャレンジウィーク事業 509</p> <p>子どもたちが職業観・勤労観をはぐくみ、自らの将来の生き方を見い出していく力を養うため、県立中学生に対し5日以上の職場体験を実施する。また、市町においても、職場体験が円滑に行われるよう、関係機関との連携を図るための県支援会議を実施する。</p> <p>2 確かな学力の育成に係る実践的調査研究事業 5,586</p> <p>本県の児童生徒の確かな学力の育成に係る課題解決を図るために、県内の小・中・高等学校における教育施策や教育指導等の改善のためのアクションプランを推進する実践的研究を実施し、その成果の普及を図る。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>3 言語力アップ推進事業 1,000</p> <p>本県児童生徒の国語に関する学力についての課題を克服し、言語活動の充実のために、指定校を設定しての研究成果を蓄積し、その取組状況等を県内に普及することで、県全体の学力向上に資する。</p> <p>新 4 道徳教育総合支援事業 7,500</p> <p>学習指導要領に基づいた道徳教育の充実を図るために、拠点推進地域（推進校）を指定し、研究成果を県内に広げるとともに、道徳教育推進教師の専門性を高める研修を行う。</p>
環境教育推進費	<p>4,512 (7,509)</p> <p>国 3,000</p> <p>繰 1,399</p> <p>○ 113</p>	<p>1 環境教育研究協議会の実施 113</p> <p>学校教育における環境教育のより一層の推進を図るため、各種における環境学習の実践事例を交流し、環境学習の在り方等の研究協議等を行う。</p> <p>新 2 レイクびわテキストプラン 1,399</p> <p>現在、高等学校で活用している環境教育副読本「琵琶湖と自然」は、発行から5年を経過し記述内容が古くなっていることから、平成25年度からの新教育課程の実施に合わせた環境教育の推進が図れるよう改訂に取り組む。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
国際教育推進費	<p>140,796 (143,946)</p> <p>国 4,070</p> <p>繰 28,311</p> <p>○ 108,415</p>	<p>急速に進展する国際化に対応できる人材を育成するため、ALTの招致や海外との交流事業を実施する。</p> <p>1 語学指導外国青年招致費 101,974</p> <p>外国語指導助手（ALT：19人）を高等学校等に配置し、生徒の外国語理解・コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>2 高校生海外相互派遣事業 1,788</p> <p>外国での学校・家庭生活の体験により異文化への理解を深め、国際的視野を持たせるとともに、英語運用能力の向上を図ることを目的に県内の高校生を海外に派遣する。 高校生海外相互派遣として、本県の高校生と米国ミシガン州の高校生各15人を相互に派遣する。</p> <p>3 外国人児童生徒等教育支援事業 28,311</p> <p>日本語指導が必要な外国人児童生徒等の在籍する公立学校等にポルトガル語等が話せる支援員を定期的に派遣し、教育相談や保護者との面談、学習支援等とおして学校生活への適応や効果的な指導の充実を図る。</p> <p>4 帰国・外国人児童生徒受入促進事業 8,215</p> <p>県内の市町立学校に在籍する外国人児童生徒数の増加や日本語指導が必要な外国人児童生徒数の増加を踏まえ、外国人の子どもが集住する地域における学校への受入体制の整備を推進するための取組の実施およびその事例やノウハウの普及を行う。</p> <p>新 5 外国人児童生徒ハートフル支援事業 399</p> <p>県立学校等における日本語指導が必要な外国人児童生徒に対して、母語による支援が必要である場合、母語を理解することのできる指導協力者を派遣し、児童生徒やその保護者等と円滑なコミュニケーションが図れるように支援する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
情報教育推進費	<p>271,896 (328,043)</p> <p>繰 86,745</p> <p>⊖ 185,151</p>	<p>情報教育の推進に資するため、教科「情報」の展開や、教育情報ネットワークの運用ならびに教育用コンピュータ等の整備を行う。</p> <p>1 教育用コンピュータ等整備 149,052</p> <p>高等学校および特別支援学校において、教育用コンピュータをリースにより計画的に整備する。</p> <p>2 教育情報ネットワーク 36,099</p> <p>びわ湖情報ハイウェイネットを利用して県内小中高等学校等を高速ネットワークで結ぶ「教育情報ネットワーク」を運用する。</p> <p>3 情報教育推進サポーター設置事業 86,745</p> <p>県立学校における情報教育の推進ならびに情報業務を円滑かつ効果的に運営するために、サポーターを設置する。</p>
高等学校教育振興費	<p>221,066 (139,128)</p> <p>繰 39,986</p> <p>⊖ 181,080</p>	<p>高等学校における教育振興のため各種事業を実施する。</p> <p>1 アクティブハイスクール支援事業 10,000</p> <p>未来を拓く人材を育成し、情報化・国際化・環境との調和の時代を生き抜く資質を養成するために、高校の特色をより明確にして高校教育を活性化する。</p> <p>2 県立高等学校求人開拓支援員設置事業 39,986</p> <p>現在の経済状況の中で高校生の就職活動をバックアップするため、求人開拓が緊急課題となる県立高等学校に支援員を配置する。</p> <p>3 職の担い手育成事業(資 - 教委 1) 3,000</p> <p>工業高校の「クラフトマン 2 1 事業(地域産業の担い手育成プロジェクト)」および農業高校の「デュアルシステム実践推進事業」の研究指定の実績を継承し、生徒自らの可能性を高め、社会で活躍する意欲を培い、人生を切り拓き挑戦する気概を育むことを目的として、各校でキャリア教育に取り組む。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>新 4 確かな自己実現支援事業(資 - 教委2) 15,000</p> <p>高校と大学の連携、高校間の連携を図り、体験的・問題解決的な教育活動を展開、外部講師による講座や技能講習を実施、さらに、研究成果を地域に拡大、地域振興に貢献することを通して、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、自己実現を図る。</p> <p>新 5 普通科におけるキャリア教育推進事業(資 - 教委1) 4,764</p> <p>普通科高等学校におけるキャリア教育を推進するため、外部講師の活用によってキャリア形成に関わる学習内容の充実を図る。また、就業体験実施校を指定し、普通科高等学校がキャリア教育に係る企画・立案・実施のノウハウを持ち、その成果の普及に努めることをめざす。</p>
<p>高等学校特別活動推進費</p>	<p>74,069 (100,189)</p> <p>繰 33,240</p> <p>⊖ 40,829</p>	<p>高等学校における特別活動の推進を図るため、文化部活動等を支援する。</p> <p>1 高等学校文化祭事業 40,829</p> <p>次代を担う高校生に、創造と表現の喜びを味わわせる文化・芸術活動の発表の機会を与えるため、県・近畿・全国高等学校総合文化祭に対する補助を行う。平成23年11月には本県で第31回近畿高等学校総合文化祭を開催する。</p> <p>2 高校生芸術文化活動支援員設置事業 33,240</p> <p>芸術文化面における専門的な知識・技能を持った人材を県立高等学校に設置し、文化部活動の支援を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
特別支援学校設備整備費	124,160 (27,714) 繰 96,000 〇 28,160	特別支援学校に必要な設備等を整備する。 スクールバス整備費 115,781 障害のある児童生徒が、可能な限り通学して学校生活を送れるよう、県下の知肢併置養護学校8校に配備しているスクールバスを、乗車児童生徒数の増加に伴い4台増車する。
特別支援学校教育振興費	509,413 (468,306) 国 70,065 財 970 繰 6,125 諸 430 〇 431,823	特別支援学校における教育振興のため各種事業を実施する。 新 特別支援学校就労拡大強化事業(資 - 教委1) 8,173 研究校の指定等により特別支援学校生の自立と社会参加に向けた教育内容の充実を検討するとともに、新たな就職先や就業体験企業を開拓するため、就労開拓支援員2名を配置する。
【総合教育センター】 研究調査費	6,747 (6,573) 〇 6,747	教育的諸問題の解決への基礎資料を提供するため、教科教育、教育相談の実態調査および実証的調査研究を行う。 特別支援教育支援事業 4,736 発達障害等のある子どもの教育相談業務を行うとともに、専門的知識と技能を持った特別支援教育相談担当者を養成する。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>4 10年経験者研修 2,255</p> <p>在職期間が10年に達した教員に対して、個々の能力、適性に 応じた研修を実施し、教科指導、生徒指導等の指導力の向上を図る。</p> <p>・対象：小・中・県立学校 160人 幼稚園 20人 養護教諭 6人 学校栄養職員 2人</p>
情報教育費	<p>43,429 (44,173)</p> <p>⊖ 43,429</p>	<p>1 しが e-センター推進費 25,200</p> <p>e-Learningシステムおよび教育情報システムを活用し、研修、 教育、相談を行うとともに教育情報の開発・収集と発信も併せて 行う。</p> <p>2 教育情報機器整備費 17,344</p> <p>情報教育を推進するために機器の更新・整備を行い、それらの 機器を活用して教職員の能力向上を図る。</p>
<p>【びわ湖フローティングスクール】</p> <p>活動費</p>	<p>35,241 (35,463)</p> <p>⊖ 35,241</p>	<p>フローティングスクールの教育・学習効果を高めるための環境整備 を行う。</p> <p>1 児童学習航海（1泊2日） 94航海 2 「湖の子」体験航海（1日） 2航海 3 特別航海（1日） 1航海</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
船舶運航管理費	222,880 (202,699) ⊖ 222,880	「うみのこ」の船舶の良好な保守管理のもと安全な運航を行う。
【人権教育課】 人権教育推進指導事業	9,329 (9,950) - 9,329	<p>学校教育等における人権教育を推進するため、学校等における教育研究や指導者の養成を行う。また、地域社会が連携して人権教育を推進するための体制整備を行うとともに、重層的な課題のある児童生徒に対する地域ぐるみの取組を推進する。</p> <p>1 子ども輝き人権教育推進事業 2,877</p> <p>教育上重層的な課題があり、特に配慮が必要と認められる中学校区において、学校や家庭・地域・関係機関等が連携・協働し、子どもの人権が大切にされる環境を整備する。</p> <p>2 人権感覚あふれる学校づくり促進事業 200</p> <p>小学校等を中心に各校の人権教育のめざす目標を明確にし、その学習方法や指導方法の研究開発を行うとともに、校種を超えた学校、関係機関等との連携を通して人権感覚あふれる学校づくりを促進する。</p> <p>3 人権教育教職員実践サポート講座 302</p> <p>人権教育に関わる教職員の授業実践をサポートする講座を開催する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
人権教育総合推進費	<p>56,107 (58,909)</p> <p>－ 56,107</p>	<p>社会教育における人権教育を推進するための体制の整備・充実を図るとともに、市町等における人権教育諸活動の促進を図る。</p> <p>1 人権教育指導者研修会 139</p> <p>人権学習を推進するための地域におけるコーディネーターおよび社会教育関係団体の指導者を養成する。</p> <p>2 (財)滋賀県人権センター事業推進 10,342</p> <p>滋賀県人権センターの運営費および事業推進費を補助する。</p> <p>3 人権教育研究事業推進 7,244</p> <p>滋賀県人権教育研究会の運営費および事業推進費を補助する。</p> <p>4 地域総合センター職員設置費補助 28,805</p> <p>市町がセンターに置く教育担当職員の給与費を補助する。</p>
<p>【生涯学習課】</p> <p>生涯学習推進事業費</p>	<p>10,937 (11,659)</p> <p>繰 2,356</p> <p>諸 250</p> <p>－ 8,331</p>	<p>いつでも、どこでも、だれでも主体的に学び、その成果を生かせるよう必要な支援を行い、生涯学習社会づくりの実現をめざす。</p> <p>1 淡海生涯カレッジの開設 984</p> <p>大学や高等学校、公民館等の学習機関が相互に連携・協力を図り、県民に広域的で体系的な学習機会を提供する。</p> <p>2 生涯学習推進基本構想の推進 425</p> <p>平成22年度において策定する「滋賀の生涯学習社会づくり基本構想」について、普及・啓発を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
女性教育振興費	<p>1,000 (1,000)</p> <p>－ 1,000</p>	<p>滋賀県女性団体活動推進事業 1,000</p> <p>県内の女性団体が実施する、女性の地位向上や、豊かな地域づくりを図る事業に対し補助を行う。</p>
市町等人権教育推進事業費	<p>6,940 (6,940)</p> <p>－ 6,940</p>	<p>すべての人々の人権が尊重される社会の実現を目指し、地域ぐるみでの人権教育の充実に努める。</p> <p>1 市町人権教育推進協議会等事業補助 5,560</p> <p>市町人権教育推進協議会等の事業および人権教育推進員等の設置に対し補助を行う。</p> <p>2 県人権教育推進協議会事業補助 900</p> <p>人権意識の高揚と人権教育の推進を図るため、県人権教育推進協議会に対して補助を行う。</p>
子ども読書活動推進事業費	<p>409 (1,062)</p> <p>－ 409</p>	<p>子ども読書活動推進事業 409</p> <p>子ども読書学習講座の開催や、子ども読書活動に対する社会的気運を高める啓発等により、子どもの読書活動の推進を図る。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
子どもを育む地域・ 家庭教育力推進事業 費	41,546 (59,044)	子どもを育てる環境づくりの総合的な推進のため、「子どもを育む地域・家庭教育力推進事業」を実施し、社会全体で子育てを支え合う気運の醸成に向けた取組を推進する。
国	15,297	1 家庭教育力の向上 697
緑	7,506	子育て学習会等の実施、家庭教育協力企業協定制度を活用した企業における子育て環境づくり、「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動の推進等により、家庭の教育力の向上を図る。
諸	300	新 2 子どもの体験活動の機会と場の充実 3,897
-	18,443	公民館などを活用し地域ぐるみで子どもの集団宿泊体験活動を進める「通学合宿」の推進など、子どもの体験活動の機会と場の充実に向けた環境づくりを進める。
		3 自然体験活動指導者養成事業 656
		子どもの自然体験活動が安全かつ質の高いものとして実施されるよう、指導者の養成を図る。
		4 「地域の力を学校へ」推進事業 6,791
		すでに設置している「しが学校支援センター」を活用し、学校支援ディレクター等の配置や、学校と地域を結ぶコーディネート担当者新任研修等の実施により、豊富な知識や経験を持つ地域の様々な人々や企業・団体・NPO等が、学校を支援する仕組みづくりを推進する。
		5 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業 29,505
		中学校区単位に学校支援本部を設置し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する「学校支援地域本部事業」をはじめ、子どもの安心・安全な居場所づくりのための「放課後子ども教室」や家庭教育に関する学習機会の提供などを行う「家庭教育支援」など、市町の行う事業に補助する。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
青少年教育振興費	<p>300 (300)</p> <p>－ 300</p>	<p>「中学生広場」開催事業 300</p> <p>中学生が日頃の思いや意見を発表し、聞き合うことで、心のふれあいを広げるとともに、青少年の健全育成を図る事業に対し補助する。</p>
荒神山少年自然の家事業費	<p>5,000 (48,845)</p> <p>－ 5,000</p>	<p>新 荒神山少年自然の家移管推進交付金 5,000</p> <p>荒神山少年自然の家の円滑な移管に資するため、平成23年度限りの措置として、彦根市が施設の管理運営を開始するにあたって必要となる経費の一部を交付する。</p>
<p>【図書館】</p> <p>図書資料整備費</p>	<p>66,890 (64,958)</p> <p>繰 8,103</p> <p>⊖ 58,787</p>	<p>図書資料の収集、整備に努め、県民の資料情報センターとしての役割を果たしていく。</p> <p>1 図書資料等購入事業 55,390</p> <p>2 近江デジタル歴史街道事業 4,051</p> <p>当館所蔵の絵図・古文書等をデジタル化し、滋賀県立図書館デジタルアーカイブ「近江デジタル歴史街道」のサイトに登録し、広く県民が活用できるようにする。</p> <p>3 貴重図書整備事業 2,026</p> <p>当館文書庫で保管されてきた貴重図書の目録点検と、適正な保存に向けた処理を行う。</p> <p>4 図書館連携をすすめるためのデータ整備事業 2,026</p> <p>レファレンス記録等蓄積された情報のデータベース化を行い、活用できるようデータ入力を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【スポーツ健康課】</p> <p>学校保健安全指導費</p>	<p>164,001 (171,751)</p> <p>国 3,263</p> <p>緑 4,370</p> <p>諸 53,591</p> <p>－ 102,777</p>	<p>児童生徒が健康で安全な生活を送ることができるよう、県立学校の児童生徒の健康課題に対する指導の充実や健康管理強化を図るとともに、地域ぐるみで取り組む学校安全体制の整備を推進する。</p> <p>1 健康管理強化事業 153,421 県立中学校を始め、県立高校・特別支援学校の児童生徒の健康診断、学校環境衛生検査等を行う。</p> <p>2 学校安全体制整備推進事業 4,928 市町が家庭や地域の関係機関・団体と連携し、地域社会全体で学校安全に取り組む体制整備の経費に対して補助を行う。</p> <p>3 地域専門家総合連携事業 799 地域の専門家・専門機関との連携を強化し、学校保健活動を推進する。</p>
<p>学校体育指導費</p>	<p>68,715 (66,855)</p> <p>国 15,456</p> <p>－ 53,259</p>	<p>児童生徒の体力向上に努めるとともに心身の健全な発達を促し、生涯にわたって運動やスポーツを主体的に実践していくための基礎を培う学校体育・スポーツの充実を図る。</p> <p>1 中体連活動振興事業費補助 9,954 中学校体育大会の開催や全国大会等への派遣費に対し補助を行う。</p> <p>2 高体連活動振興事業費補助 32,811 高等学校体育大会の開催や全国大会等への派遣費に対し補助を行う。</p> <p>3 子どもの体力向上支援事業 3,560 子どもの体力向上に向けた検討会や学校における体育・健康に関する指導の改善につなげるためのプログラムを作成する。</p> <p>4 地域スポーツ人材活用事業 8,896 運動部活動・体育授業の指導に対して、優れた技能を有する地域の外部指導者を各学校へ派遣する。</p> <p>新 5 全国中学校体育大会開催事業 11,000 平成23年度に、近畿2府4県で開催する全国中学校総合体育大会において、本県で開催する3競技（バスケットボール、サッカー、バドミントン）に係る経費に対し補助を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
学校給食指導費	<p>582 (711)</p> <p>— 582</p>	<p>学校給食の普及充実・改善指導に努める。</p> <p>湖っ子食育推進事業 105 児童生徒に正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身につけさせるため、学校を中心に家庭や地域と連携をとりながら計画的・継続的な食に関する指導の充実を図る。</p>
スポーツ大会費	<p>51,199 (54,904)</p> <p>— 51,199</p>	<p>本県の競技スポーツの向上と生涯スポーツの振興のため、各種の全国的規模の大会に選手を派遣する。</p> <p>1 国民体育大会派遣経費補助金 47,077 本県を代表し、第66回大会（山口県等）に参加する選手や監督の派遣経費に対し補助を行う。</p> <p>2 全国スポーツ・レクリエーション祭補助金 1,218 本県を代表し、栃木県大会に参加する選手や監督の派遣経費に対し補助を行う。</p>
スポーツ団体育成費	<p>66,296 (68,982)</p> <p>繰 2,126</p> <p>— 64,170</p>	<p>各種スポーツ団体の安定的な団体運営と事業実施を支援するとともに、本県のスポーツ振興に寄与する各種競技大会を行う。</p> <p>1 中学校体育連盟育成補助 5,440 中体連事務局の運営に要する経費に対し補助を行う。</p> <p>2 高等学校体育連盟育成補助 5,878 高体連事務局の運営に要する経費に対し補助を行う。</p> <p>3 県民総スポーツの祭典開催 5,000 県民総スポーツの祭典の開催経費の一部を負担する。</p> <p>4 びわ湖毎日マラソン大会開催 30,000 第67回びわ湖毎日マラソン大会（びわ湖レイクサイドマラソン大会開催含む）の開催経費の一部を負担する。</p> <p>5 びわ湖大学駅伝大会開催 15,000 びわ湖大学駅伝大会の開催経費の一部を負担する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
スポーツ強化対策費	9,234 (9,234) - 9,234	次世代を担うジュニア選手の育成・強化に重点を置き、本県代表として、さまざまな舞台で活躍できる競技者や指導者の育成を図る。
社会体育施設整備費	102,027 (-) 繰 100,000 - 2,027	社会体育施設の整備、充実を図り、体育・スポーツの普及振興に努める。 新彦根総合運動場陸上競技場公認更新整備事業 100,000 日本陸上競技連盟が定める第2種公認陸上競技場の公認を更新するため、公認条件に合致するようトラックのウレタン舗装等の整備を行う。
【文化財保護課】 文化財活用促進費	44,323 (26,756) 国 2,500 繰 24,801 - 17,022	県内各地に点在する文化財を活用することにより、地域づくりへの貢献や滋賀の歴史・文化の県内外への積極的な発信を図る。 新 国 1 琵琶湖文化 魅力発信プロジェクト 近江水と大地の遺産魅力発信事業 5,000 滋賀の特色であり、財産である琵琶湖と水にまつわる文化遺産「近江水の宝」のさらなる情報発信を図るとともに、大地に刻まれた遺跡に光を当てることで、観光振興に資する。 新 繰 2 琵琶湖文化 魅力発信プロジェクト(資 - 教委 3) 近江の仏教美術等魅力発信・再生支援事業 10,950 近江の誇る社寺建築や美術工芸品の価値や魅力を発信し、観光振興等につなげるため、滋賀の文化財を探訪するツアーや修理と公開を一体的に実施する取り組みに対し支援を行う。 新 3 近江の仏教美術等活用発信検討事業(資 - 直轄 3) 3,572 本県の優れた仏教美術等の魅力の発信および活用等に向けて、外部委員による検討会を設置する。 新 4 里山と文化財が織り成す地域資産再生事業 4,996 木々に埋もれた各種の文化財の活用を容易にし、地域資産としての価値を高めるため、市町が実施する里山内の雑木等の伐採や誘導路の整備等に要する経費を助成する。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>5 文化財緊急雇用創出事業 19,805</p> <p>(1) 琵琶湖文化館写真資料整理事業 4,415 琵琶湖文化館が保管する写真資料をデジタルデータ化し、保存を図る。</p> <p>(2) 活版印刷資料調査整理事業 8,918 琵琶湖文化館が保管する活版印刷資料について調査を実施し、調査カードの作成と写真資料を整備する。</p> <p>(3) 滋賀県民俗調査票等保存活用整理事業 4,920 昭和38年度および昭和52・53年度に実施した滋賀県民俗調査の調査票のデジタル化とデータベースの作成等を行う。</p> <p>(4) 史跡春日山古墳群の活用に向けた環境整備事業 1,552 県有史跡地の生い茂った樹木を伐採し、活用に向けた環境整備を行う。</p>
<p>遺跡保存整備事業費</p>	<p>223,740 (192,288)</p> <p>財 899</p> <p>繰 77,789</p> <p>諸 142,538</p> <p>— 2,514</p>	<p>地域開発と遺跡保存との調和を図りつつ、文化遺産の保存対策を講ずる。</p> <p>1 公共事業関連緊急発掘調査費 221,226 公共事業の円滑な推進を図るため、国土交通省等からの受託による公共事業関連発掘調査等を行う。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
文化財調査事業費	3,537 (5,927) 国 1,000 - 2,537	<p>県内に所在する文化財の実態を調査し、保存策の検討や記録保存を行うとともに、指定など文化財の保存の促進と県民への活用を図る。</p> <p>1 古文書等詳細調査 2,000 県内各地の社寺等に伝わる梵鐘や鯛口などの梵音具を調査し、保存策を講じるための資料を得る。</p> <p>2 滋賀県民俗行事まるごと調査 1,000 県内各地に伝わる民俗行事について、地域住民から直接聴き取りをするなど実態調査を行う。</p>
文化財保護助成費	194,525 (191,812) 繰 2,460 諸 131,030 - 61,035	<p>文化財の保存と活用を図るため、文化財の所有者等が行う保存修理等の事業に対して助成を行う。</p> <p>1 指定文化財保存修理等補助事業 47,857</p> <p>(1) 国指定文化財保存修理等補助金 9,036 国指定文化財の所有者等が実施する保存修理事業等に要する経費の一部を助成する。</p> <p>(2) 県指定文化財保存修理等補助金 18,888 県指定文化財の所有者等が実施する保存修理事業等に要する経費の一部を助成する。</p> <p>(3) 埋蔵文化財発掘調査等補助金 17,143 市町教育委員会が行う個人住宅建設等に伴う発掘調査や埋蔵文化財分布調査等に対する経費の一部を助成する。</p> <p>(4) 近江の名宝保存継承事業費補助金 2,460 マザーレイク滋賀応援基金を充当し、文化財所有者等が実施する傷みの激しい文化財などの保存修理に要する経費の一部を助成する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
安土城考古博物館管理運営費	129,898 (134,996) 使 1,165 繰 6,000 - 122,733	<p>「近江風土記の丘」の中心的施設である安土城考古博物館において城郭と考古をテーマとした魅力ある展示、普及啓発事業を通して滋賀の歴史・文化を発信する。</p>
琵琶湖文化館管理運営費	21,667 (24,412) - 21,667	<p>休館中の琵琶湖文化館に収蔵している国宝・重要文化財を含む収蔵品の安全かつ良好な管理を行うとともに、文化財調査や各種講座等を実施する。</p>
史跡観音寺城跡調査・整備事業費	2,000 (2,000) 国 1,000 - 1,000	<p>史跡観音寺城跡の石垣の規模や危険度の詳細を把握するため、年次計画で悉皆調査を行い、写真とデータをカルテ化し、今後の適切な保存に必要な基礎資料を得る。</p>